

## (二) C・B・デフォレスト先生

### ご召天二十五周年記念祭に参加して

一九九八年七月二日は神戸女学院第五代院長デフォレスト女史 (Miss Charlotte Burgis DeForest, 1879.2.23-1973.7.2. 神戸女学院在職一九〇五—一九五〇、うち院長在任一九一五—一九四〇) のご召天二十五周年でした。その日を記念して、神戸女学院同窓会仙台支部の皆様のご尽力により記念祭が仙台で執り行われ、史料室のご配慮で参加させていただくことができました。



にて教会北台仙

七月二日午前十一時、北山輪王寺外人墓地の太平洋を見下ろせる小高いデフォレスト家の墓前で、総勢三三名の参列者による墓前礼拝でその祭典は始まりました(注1)。参加者は、学院から城崎 進院長を初め、飯 謙学院チャプレン、松本文男中高部教頭、佐伯裕加恵史料室職員(104)、同窓会からは磯 由美子副会長(62保65)、小幡信子理事(育66)、三谷佳子東京支部長(72)。加えて、各地からデフォレスト先生を偲んでこの日のために集まられた二三名の同窓の諸姉たち。その中には、溝口百合元同窓会会長(57 E 60)、福島泰子元中高部教諭(53 E 56)、デフォレスト先生の秘書を勤められた篠原 愛姉(47 J 49 C 52)の顔も見えました。そして若松茂登美姉(63)を初めとする一名の地元仙台支部の方々、塩釜からお母上が同窓生(故梅本 愛姉32)であられるという梅本富子氏も集まって下さいました。それに大学図書館員奥 祥子(E 78)でした。

礼拝は黙禱から始まり、飯チャブレンにより「デフォレスト先生のことを新たに思い、その志を継ぐものとならせて下さい」と祈禱が捧げられました。続いてのメッセージは「神様は一人一人に目を留められ、相応しい道を与えて下さるという信仰が、デフォレスト先生が神戸女学院に於いて、個人の自主性や自由と責任を強調された根源にある。それは、ありのままを受け入れて下さる神様を愛し、隣人をありのままで受け入れるということである。この神を愛し、人を愛するというのが、我々が日々の生活の中で回復させたいことであることを、この記念式にあたり心に刻みたい」と結ばれました。その後祈りの時がもたれ、溝口姉、磯姉、池田裕子姉(M70)、奥とそれぞれにこの記念祭に感謝を捧げ、一同その祈りに心を合わせました。

墓前での礼拝後、希望者は北山輪王寺の美しい庭園を拝観、ご用意いただいた車に分乗して東北学院同窓会館へ向かいました。

仙台北教会の五味牧師夫人と前牧師夫人菅 千代様にもお加わりいただき、遠藤比佐子姉(78 E 83)の司会により懇親の時ははじまりました。若松仙台支部長から歓迎のご挨拶があり、二五年前にチヨコレートかと見紛う箱に入った先生のご遺灰が突然に届いた時の驚きのようすをお話いただきました。続いて城崎院長から、同窓生諸姉を初め多くの方に支えられ、神戸女学院が阪神大震災から見事に復興成った報告があり、今後の母校のあゆみのため一層のご支援とご加禱を賜りたいとのご挨拶がありました。篠原姉による「言葉ではなくて行為を通してキリストを述べ伝えること」を実践されたお父上(Dr. John Hyde DeForest, 1844-1911.)の考えを受け継いでおられるデフォレスト先生にまつわるエピソードを伺い、溝口姉の食前の感謝の祈りのあと、松本中

# 注 1

## C. B. デフォレスト先生ご召天25周年記念 墓前礼拝

1998年7月2日(木)

於 北山輪王寺

司式：飯 謹 チャブレン

黙	禱				—	同
讃	美	歌	2 3 4 A		〃	
聖	書	ガラテヤの信徒への手紙5：13-14			飯チャブレン	
祈	禱				〃	
式	辞				〃	
讃	美	歌	2 9 4		—	同
祈	の	時			〃	
献	花				〃	
頌	栄		5 4 4		〃	
祝	禱				飯チャブレン	

高部教頭の乾杯の音頭で午餐会が始まり、和やかな歓談の時間が流れました。

食後、車に分乗して東北学院シッブル館へ。デフォレスト先生が少女時代をご両親とすごされたお住居を見学いたしました。殆どそのままの状態で遺されているコロニアルスタイルの建物は、往時を充分に偲ばせるものがあり、感慨深いひとときでした。ご案内くださった東北学院の関係者の方々と記念写真の撮影の後、場所を仙台北教会に移し、季節の花で美しく飾られたデフォレスト先生の写真を中央に「デフォレスト先生ご召天二十五周年記念礼拝」を捧げました(注2)。奏楽は池田姉のご奉仕。そして讃美歌を独唱して下さったのは吉村玲子姉(M87)。選ばれた讃美歌三〇〇番と四九四番はいずれも先生の愛唱歌。聖書の拝読は詩篇三篇。これはデフォレスト女史ご臨終の際開かれていた箇所と伺いました。

こうして記念祭の行事は滞りなく終了し、出席者は各々その予定に従って帰途につきました。この記念すべき一日をととても充実したものにしていただけたのは、一人という少人数で周到な準備のもと盛り沢山のスケジュールを見事にこなして下さった仙台支部の皆様の賜物と、心よりお礼申し上げます。私達参加者がそれぞれに深い想いをもってこの記念祭に参加出来たことを確信し、心より感謝申し上げます。

私が神戸女学院でデフォレスト先生にお目にかかったのは創立八十五周年記念の祝典の時、はるか遠くからそのお姿を拝見しただけでした。しかし、その後神戸女学院図書館で所蔵する多くの資料を通して、デフォレスト先生と出

## 注 2

### C. B. デフォレスト先生ご召天25周年記念礼拝

日	時	1998年7月2日(木)		
場	所	日本基督教団 仙台北教会		
司	式	城崎 進 院長		
奏	楽	池田 裕子 姉		
前	奏		奏	者
讃	美	300	一	同
独	唱	300(3)	吉村 玲子 姉	
聖	書	詩篇 23	司	式
祈	禱		一	同
メ	ッセージ	「いこいの汀」	城崎	院長
祈	禱		一	同
讃	美	494	一	同
独	唱	494(1)	吉村 玲子 姉	
献	金		一	同
献	金		庄ノ	敬 姉
頌	栄	541	一	同
祝	禱		司	式
後	奏		奏	者

会ってきました。今回、この記念式に参加させていただき、神戸女学院を退かれてから四八年、亡くなられてから二五年という長い歳月を経てもなお、同窓諸姉を初めとして多くの人々の心の中にデフォレスト先生が生き続けておられるのを実感できたのは貴重な体験でした。

最後に神戸女学院図書館で所蔵するデフォレスト先生に関する主な文献を記載します。神戸女学院に連なるより多くの人にこれらの資料を通して先生の祈りを知り、来たる西暦二千年に創立一二五周年を迎える神戸女学院の歴史の重みを知っていただくことを切に願います。

(史料室運営委員 奥 祥子)

## 《主要文献》

### 一、著作集

- The Evolution of a Missionary: a Biography of John Hyde DeForest.* Fleming H. Revell, 1914.  
*Woman and the Leaven in Japan.* Central Committee on the United Study of Foreign Missions, 1923.  
*I Seek with Joy. Words by Charlotte B. DeForest.* (Church Music Review. No.1145.) H.W. Gray, 1931.  
*The History of Kobe College.* Kobe College Corporation, 1950.  
*Poems Down the Years.* Kobe College Alumnae Association, 1960.  
*The Prancing Pony: Nursery Rhymes from Japan.* John Weatherhill, 1967.  
『西洋禮法』 DeForest, C.B. & Loomis, C.D. 日本基督教興文協會 大正九年  
『神戸女學院第五十年報』 大正十三—十四年 シ・ビ・デフォレスト述(めぐみ第五號付録)  
『わが心の自叙伝(2)』 pp.187-207. 「シ・ビ・デフォレスト」神戸新聞学芸部編 一九六八年

『パン種としての日本女性』別府恵子・頼広節子訳 春秋社 一九八四年 (*Woman and the Leaven in Japan* の邦訳)

二' (Scrap books)

*Eliza Talcott. Founder of Kobe College.* 1919.

*Mrs. Moses Smith.* 1934.

*Kobe College Records of the Building Campaign.* 1948.

1. *Gift Buildings and Campaign Material.*

2. *Gift Rooms and Other Memorials.*

三' ホーム盤

「或る日の感想」 昭和十年六月十五日・“Bible Reading” Philippians 4: 1, 6-8 Colossians 3: 12-14 I Thessalonians 3: 11-13.

四' 定期刊行物

*Annual Report of the A.B.C.F.M.*

*Life and Light for Woman.*

*Japan Mission News.*

*The Missionary Herald at Home and Abroad.*

五、(manuscripts)

色紙・"Shougun Ieyasu's precepts."

2 poems from *Poems Down the Years*: 'Morning prayer' and 'Timeless.'

"Some Japanese Nursery Rhymes", illus. and tr. by Charlotte B. DeForest as a travel calendar for her parents on their return trip to Japan in 1908. 30 pieces. (Sep. 23-Oct. 23.)

六、研究書

武田清子著「日本に根をおろしたビュリタン」(文芸春秋第五二巻第十三号 pp.245-248) 一九七四年

神戸女學院大學女子青年會編『デフォレスト先生記念特輯號』(Y・W・C・A季刊) 一九五一年